

◆「まちづくりの4つの窓」

【配布シート1】

地域福祉の推進にあたって、住民参加で行う最初のワークショップのアクティビティである。地域福祉計画策定にあたって必要な4つの要素を盛り込んで開発した。計画策定の当初の段階で、地域住民に地域福祉計画を理解し、基礎的な作業として活用する。すでに多くの自治体、社協等で用いられてきた。

用意するもの

一人1枚のカード グループごとにマジック、模造紙1枚

すすめ方

4つのテーマを1. 2. 3. 4の順に一つ一つ丁寧にすすめる。

グループのなかで、一人ひとりがカードを紹介しながら話し合う。

ポイント

このワークショップでは、類型化したり分析したりはしない。お互いが自分の想いを語り合い、これから地域福祉活動を進めていく意義とイメージを共有化することを大切にする。

1. 私たちのまちのいいところ	3. こんなまちであつたらいいな
2. 身近な地域で困っていること	4. 私たちにできること

1. 私たちのまちのいいところ

地域のポテンシャル（潜在的な力や可能性）を確認する

このまちのいいところを「さらによくしていくこと」が地域福祉活動である

2. 身近な地域で困っていること

少し目先を変えたら、地域のなかで困っていることもある

近隣で気になっていることをあげてみる

こうした日常の生活課題を「解決していくこと」が地域福祉活動である

3. どんなまちにしていきたいか

私たちのまちがどんなまちであつたらいいか、希望やねがいを自由に語り合う

自分たちのまちの将来に向けて「夢やロマンを語り合う」のが地域福祉活動である

4. 私たちにできること

そのために私たちはどんなことができるか、できるだけ具体的に実現できることを提案する

私たちのまちを私たちが創造していくー「具体的な行動や実践」がなければ進まない。

＜M.HARADA作成＞